

2014年度第2四半期 IR決算説明資料

2014年11月11日

日本テレビホールディングス株式会社

**本説明会及び資料の内容には、
将来に対する見通しが含まれていることがあります。
しかし、実際の業績は、
さまざまな状況変化や要因により、
これらの見通しと
大きく異なる結果となり得ることがあり、
何らの保証やコミットメントを
与えるものではありません。ご了承下さい。
また、本資料の無断転載はお断りいたします。**

決算のポイント

- 2014年度上半期決算は増収、
営業利益、経常利益減益、当期純利益増益。
- W杯、レギュラー番組好調でタイム収入増収、
好調な視聴率を背景に、スポット収入増収。
⇒ 放送収入は好調に推移。
- 通期業績予想は変更せず。

連結 売上高・利益

(百万円)

	2013年度 第2四半期	2014年度 第2四半期	増減率 (%)
売上高	163,418	170,356	4.2
営業利益	16,930	16,276	△3.9
経常利益	20,470	20,091	△1.8
当期純利益	12,398	12,521	1.0

日本テレビ放送網(単体) 売上高・利益

(百万円)

	2013年度 第2四半期	2014年度 第2四半期	増減率 (%)
売上高	135,675	140,968	3.9
営業利益	12,228	13,995	14.4
経常利益	13,735	15,136	10.2
当期純利益	8,138	9,507	16.8

テレビ広告収入 -地上波放送(日本テレビ放送網)-

(百万円)

	2013年度 第2四半期	2014年度 第2四半期	比較	増減率 (%)
放送収入	109,205	114,880	5,674	5.2
タイム	54,548	56,144	1,595	2.9
スポット	54,657	58,736	4,078	7.5

タイム	2013年度	2014年度
4月	△2.7%	2.4%
5月	3.2%	0.3%
6月	2.2%	10.0%
7月	△6.7%	5.0%
8月	△7.6%	0.4%
9月	1.8%	△0.2%

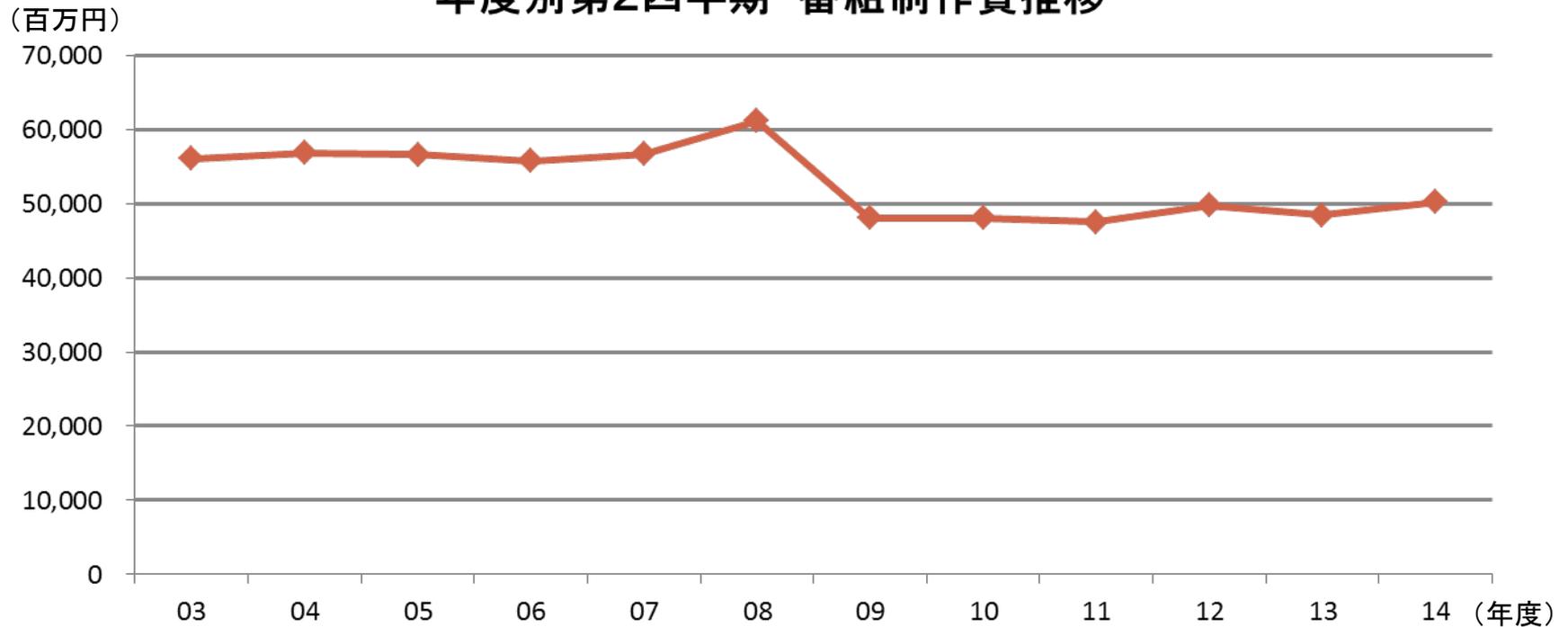
スポット	2013年度	2014年度
4月	△4.8%	△1.0%
5月	△2.5%	15.1%
6月	6.6%	5.0%
7月	0.6%	7.7%
8月	23.3%	11.0%
9月	15.6%	9.1%

番組制作費 -地上波放送(日本テレビ放送網)-

(百万円)

2013年度 第2四半期	2014年度 第2四半期	比較	増減率 (%)
48,442	50,186	1,743	3.6

年度別第2四半期 番組制作費推移



主な事業収支の概況 - 日本テレビ放送網 -

(百万円)

第2四半期		収入	費用	収支
映画事業	前期	3,934	3,777	157
	当期	3,446	3,443	3
通販事業	前期	4,513	4,313	200
	当期	4,509	4,188	320
イベント事業	前期	2,561	2,216	345
	当期	2,882	2,875	7

主なグループ各社の状況

(百万円:未滿切捨)

2014年度 第2四半期	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	金額	増減率(%)	金額	増減率(%)	金額	増減率(%)	金額	増減率(%)
BS日本	7,436	8.2	1,077	△7.7	1,137	△7.9	730	△33.2
シーエス日本	2,737	8.4	298	71.5	310	69.1	168	50.4
日テレ・テクニカル・リソーシズ*	5,083	2.3	167	8.8	187	8.8	125	24.2
日テレ アックスオン	10,354	4.3	647	△0.9	660	△0.5	414	3.6
日テレイパッツ	1,495	9.7	100	2.2	104	2.1	66	6.3
日本テレビアート	4,070	△1.7	232	0.0	243	△0.1	156	3.7
日本テレビ音楽	5,360	14.2	774	14.6	829	10.7	541	16.1
ハップ	6,777	△40.3	△965	—	△880	—	△880	—
日本テレビサービス	2,060	△24.0	158	△41.7	174	△39.4	109	△37.6
日本テレビワーク24	2,080	6.2	61	19.9	63	15.2	36	18.0
フォアキャスト・コミュニケーションズ*	1,483	△4.3	33	△33.4	61	36.6	33	24.3
日テレ7	2,567	19.5	165	99.4	169	101.1	107	112.0
タツノコプロ	1,012	—	130	—	131	—	84	—

※タツノコプロは2013年度第4四半期から連結のため、前年比較はありません。

業績予想と前提

2014年度連結業績予想

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期	352,100	38,200	43,300	26,800

* 業績予想は据え置いています

地上波テレビ広告収入と制作費 予想の前提(前年同期比)

	下期予想		通期予想	
	前回発表	今回発表	前回発表	今回発表
テレビ広告収入	△1.5%	△0.2%	1.2%	2.4%
タイム	△4.0%	△1.8%	△0.9%	0.5%
スポット	1.0%	1.4%	3.3%	4.3%
制作費	△7.2%	△5.8%	△1.7%	△1.1%

好調な視聴率

☆2014年「年間」「年度」視聴率三冠王で推移！

- ・昨年12月から10月まで11か月連続で月間三冠王獲得。
- ・1月クール、4月クール、7月クールと連続で三冠王獲得。
- ・上半期三冠王獲得！
- ・世帯視聴率と個人視聴率の両立。
→引き続きクライアントニーズの高い視聴者層の獲得。

☆改編成果を実感

- ・平日ベルト番組、プライムタイムレギュラー番組の好調維持
- ・プラチナイト枠の視聴率増加

* 上半期平均視聴率(世帯視聴率:ビデオリサーチ調べ)

「月曜から夜ふかし」9.1%(+1.9%)、「今夜くらべてみました」6.0%(+0.5%)

「ナカイの窓」5.9%(+0.9%)

- ・10月改編も好調に推移

「トリックハンター」7.9%(7月クール平均)→9.5%(10月クール4回平均)

「きょうは会社休みます。」16.4%(4回平均) 「地獄先生ぬ〜べ〜」10.4%(5回平均)

2014年「年間」視聴率

期間: 2013/12/30～2014/11/09

* 表示は左からデジタルチャンネル順

	NTV	EX	TBS	TX	CX	2位局との差 (昨年の差)
全日	① 8.4	7.3	5.9	3.1	6.8	+1.1
	(+0.4)	(Δ0.5)	(Δ0.6)	(+0.2)	(Δ0.1)	(+0.2)
プライム	① 12.4	11.4	9.4	6.9	10.2	+1.0
	(+0.5)	(Δ0.9)	(Δ0.6)	(+0.4)	(Δ0.5)	(Δ0.4)
ゴールデン	① 12.5	10.8	9.6	7.3	10.0	+1.7
	(+0.5)	(Δ1.2)	(Δ0.5)	(+0.4)	(Δ0.5)	(±0.0)

* 世帯視聴率(関東地区)・ビデオリサーチ調べ

2014年「年度」視聴率

期間:2014/03/31～2014/11/09

* 表示は左からデジタルチャンネル順

	NTV	EX	TBS	TX	CX	2位局との差 (昨年の差)
全日	① 8.3	7.1	5.8	3.1	6.6	+1.2
	(+0.4)	(Δ0.6)	(Δ0.5)	(+0.3)	(Δ0.3)	(+0.2)
プライム	① 12.4	11.0	9.4	6.7	9.9	+1.4
	(+0.6)	(Δ0.9)	(Δ0.4)	(+0.2)	(Δ0.9)	(Δ0.1)
ゴールデン	① 12.4	10.4	9.5	7.1	9.7	+2.0
	(+0.5)	(Δ1.2)	(Δ0.4)	(+0.2)	(Δ0.8)	(+0.3)

* 世帯視聴率(関東地区)・ビデオリサーチ調べ

2014年「年間」視聴率上昇

期間:2013/12/30～2014/11/09

	全日	プライム	ゴールデン	ノンプライム	プラチナ
	6時～24時	19時～23時	19時～22時	全日ープライム	23時～25時
日テレ	①8.4%	①12.4%	①12.5%	①7.3%	②6.9%
前年同期比	+0.4%	+0.5%	+0.5%	+0.4%	+0.7%

* 世帯視聴率(関東地区)・ビデオリサーチ調べ



次頁から
補足資料です

営業収入 -日本テレビ放送網-

(百万円)

	2013年度 第2四半期	2014年度 第2四半期
放 送 収 入	109,205	114,880
タ イ ム	54,548	56,144
ス ポ ッ ト	54,657	58,736
番 組 販 売 収 入	5,463	5,361
事 業 収 入	19,630	19,386
不 動 産 賃 貸 収 入	1,376	1,339
合 計	135,675	140,968

営業費用 -日本テレビ放送網-

(百万円)

	2013年度 第2四半期	2014年度 第2四半期
番組制作費	48,442	50,186
支払電波料	14,334	14,652
代理店手数料	19,391	20,493
人件費	9,888	10,423
減価償却費	2,935	3,249
事業費	16,567	15,846
諸経費	11,887	12,120
合計	123,447	126,973

スポット業種別売上シェア -地上波(日本テレビ放送網)-

2013年度 第2四半期		シェア	増減率 (%)	2014年度 第2四半期		シェア	増減率 (%)
1	化粧品・トイレタリー	12.5	6.4	化粧品・トイレタリー	14.1	21.2	
2	運輸・通信	8.3	3.2	運輸・通信	10.9	41.2	
3	輸送機器	8.2	3.4	輸送機器	7.2	△5.0	
4	非アルコール飲料	7.9	30.5	サービス	7.2	31.3	
5	金融・保険業	6.3	49.6	薬品	6.5	23.2	
6	サービス	5.9	37.2	非アルコール飲料	6.1	△16.2	
7	薬品	5.6	△10.7	金融・保険業	5.4	△7.6	
8	電気機器	5.3	△10.1	電気機器	5.1	2.0	
9	映画・演劇興行	4.5	△25.0	映画・演劇興行	4.9	17.4	
10	アルコール飲料	4.3	0.9	アルコール飲料	4.4	10.8	

* 増減率は実績の前年同期比。内部管理数値です。

日本テレビ放送網事業収支

2014年度 第2四半期 事業種別収支

(百万円)

	収入	費用
有料放送	4,304	1,827
ライツ	1,024	664
通販	4,509	4,188
映画	3,446	3,443
イベント	2,882	2,875
海外ビジネス	549	210
その他	2,672	2,639
合計	19,386	15,846

設備投資と減価償却（連結）

（億円）

2014年度第2四半期	設備投資額	減価償却費
連結	119	37

連結予想	設備投資額	減価償却費
2014年度	177	78
2015年度	197	75
2016年度	118	88

* 予想数値は内部管理の数値です。今回予想の変更はありません。

セグメント別 実績

(百万円)

2014年度 第2四半期	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結損益 計算書 計上額
	コンテンツ ビジネス 事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高	167,729	5,196	172,926	2,060	174,987	△4,631	170,356
セグメント利益	14,338	2,024	16,363	158	16,521	△245	16,276

事業区分	主な事業内容
コンテンツビジネス事業	テレビ広告枠の販売、有料放送事業、動画配信事業、映像・音楽等のロイヤリティ収入、パッケージメディア等の販売、通信販売、映画事業、イベント・美術展事業、コンテンツ制作受託
不動産賃貸事業	不動産の賃貸、ビルマネジメント

2014年「日本テレビ」世帯視聴率詳細一覧

	全日	プライム	ゴールデン
1月月間	①8.7	①12.6	①12.7
2月月間	①8.8	①12.5	①12.7
3月月間	①8.2	①12.6	①12.9
4月月間	①8.1	①12.1	①12.1
5月月間	①8.1	①12.1	①12.0
6月月間	①8.2	①12.0	①12.0
7月月間	①8.3	①12.2	①12.0
8月月間	①8.6	①12.8	①12.9
9月月間	①8.4	①12.8	①12.9
10月月間	①8.5	①12.5	①12.5

	全日	プライム	ゴールデン
1月クール	①8.6	①12.6	①12.8
4月クール	①8.1	①12.1	①12.1
7月クール	①8.5	①12.6	①12.6
上半期	①8.3	①12.3	①12.3

* 世帯視聴率(関東地区)・ビデオリサーチ調べ

2014年度 映画事業・イベント 今後の主なラインナップ

公開	作品名	配給	備考
11/29	☆「寄生獣」	東宝	伝説の大傑作マンガを「永遠の0」の山崎貴監督が超特大2部作で実写映画化！ 完結編は2015年GW公開。 出演は染谷将太、深津絵里、阿部サダヲ、橋本愛ほか。 テレビアニメ連動ビッグプロジェクト！
2015年 1/10	☆「ST赤と白の捜査ファイル」	東宝	警視庁の特殊機関「ST」。優秀だけど変わり者の集団が難事件を次々と解決していく今までにない警察もの。7月期日テレ人気ドラマが期待に応え早くも映画化。 出演は藤原竜也、岡田将生他。
2015年 1/31	☆「ジョーカー・ゲーム」	東宝	数々のエンタテインメント文学賞を総なめにしたスパイアクションの映画化。架空の第二次大戦中、異能の天才スパイが繰り広げる決死の頭脳戦。出演は、亀梨和也、深田恭子、伊勢谷友介 他。
2015年 2月	☆「花とアリス殺人事件」	ティ・ジョイ	岩井俊二監督の名作「花とアリス」を、10年の時を経て、監督自らの手で初の長編アニメーション化。二人の少女の出会いのエピソードを描く。声の出演 蒼井優、鈴木杏 他。
2015年 春	☆「風に立つライオン」	東宝	歌手さだまさしが同名タイトルの自身の名曲を、自ら執筆し小説化した「風に立つライオン」が遂に映画化。アフリカでの日本人医師の活躍を壮大なスケールで描く感動大作。

☆日本テレビ幹事作品

期間	イベント名	内容
2015年 2/21～6/1	「ルーブル美術館展」 日常を描く ー風俗画にみる ヨーロッパ絵画の真髄ー	(国立新美術館) 過去3回で、合計300万人を超える入場者数を記録した日本テレビ主催の第4弾。風俗画とは、「日常生活をテーマにしている絵画」。フェルメールの《天文学者》が待望の初来日。